

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年6月12日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年6月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【発電所構外南側護岸近くの電柱上部の碍子から火花と発煙の発生について】 発電所構外南側護岸近くの電柱上部の碍子から火花と発煙の発生を確認。 その後、電柱の工事前仮設開閉器を開放し、火花と発煙の発生なしを確認。 原因は、電柱上部の碍子に海面からの塩分や粉じん等が付着したことにより、絶縁抵抗値が低下し放電したものと推定。 当該電柱および類似箇所電柱上部の碍子清掃実施後、受電操作を行い異常がないことを確認。	G II	6月7日